



♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力

園長室だより

建学の精神
強く正しい
清くやさしい

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成27年1月13日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園
新年あけましておめでとうございます


新たな年を健やかに迎えることができました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、三学期は、今年度の「まとめの時期」であり、
次年度への「準備の時期」となる大事な期間です。

子どもたちが自信を、保護者の皆さまには安心を
もって進級していただけるよう、指導の充実に努め
ていきます。



子どもたちへの一番の環境

「大人のしあわせ」=笑顔

右にご紹介する文章は、長年、家庭教育や家族
関係のコンサルタントされたドロシー・ロー・ノルトさん
の「子は親の鏡」と題される言葉の一部です。

ご存知の方も多いことでしょう。

この文章の前半では、「けなされて育つと、子ども
は、人をけなすようになる。とげとげした家庭で育つ
と、子どもは乱暴になる。」など、ネガティブな関わり
が、子どものマイナスな成長を助長することが記さ
れています。確かに「死ね！」「ウザイ！」では…。

子どもへのポジティブな関わりが、その後の子ども
の成長にプラスに影響する可能性については、アメ
リカでの大規模な追跡調査からも言われています。

大人ができることは、子どもによい環
境を与えることですが、それは特別
な関わりというよりも、親の何気ない
表情や振る舞いの中にあるように



思います。そういえば、毎朝、明るい笑顔で登園さ
れる親御さんがとても多いです。その姿に出会うた
び私は、本園の子どもたちは幸せだなと感じていま
す。子どもにとっての一番のご褒美、それは「お母さ
んのしあわせ」そんな笑顔なのですから。

「誉めてあげれば、子どもは明るい子に
育つ。愛してあげれば子どもは、人を愛
することを学ぶ。認めてあげれば、子ども
は自分が好きになる。見つめてあげれ
ば、子どもはがんばり屋になる。分かち合
うことを教えれば、子どもは思いやりを学
ぶ。親が正直であれば、子どもは正直で
あることの大切さを知る。親が公平であ
れば、子どもは正義感のある子に育つ。
思いやりをもって育てれば、子どもは優し
い子に育つ。

守ってあげれば、子どもは強い子に育
つ。和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもはこの世の中はいいところだと思え
るようになる。」

(ドロシー・ロー・ノルト

『子どもが育つ魔法の言葉』から抜粋)



ここで、今は亡き私の父の口癖を思い
出したので、ご紹介させていただきます。

「友子はかしこい！ええ子やなあ。」です。子ども心
に「そんなに賢くないのに」と冷やかに思っていた
のですが。この口癖の威力に気付かされたのは教師
になってからです。「あなたはきっといいご家庭で
育ったのだろうね。」と幾度となく誉めていただくこ
とがあり、正直驚きました。決して裕福でもなく誉めら
れるような家庭でもありませんでしたから。

でも、その「いい家庭」の意味が分かったのです。

そういえば、父は、誰かと比べた「賢さ」ではなく、
「友子」そのものの成長を感じるたびに「かしこい！」
と本気で伝えてくれていたのです。この口癖は、間
違いなく私の生きる力の火種となりました。

今、その口癖は、私から娘たちへと引き継がれ、
孫たちに「かしこい！」「ええ子やね！」の連発です。